

第37回（2008年度）日墨研修生・学生等交流計画募集要項 （一般公募用）

2008年5月
外務省中南米局中米課

メキシコ政府及び日本政府は、日墨研修生・学生等交流計画により、日本からメキシコへの留学生を下記の通り募集する。

1. コースの概要・対象者・募集人数

●専攻コース：スペイン語初・中・上級者：20名程度

各自のスペイン語のレベルに応じて下記の研修を行う。なお、大学における専攻分野については、文系、理系のあらゆる分野（科学技術、芸術、スポーツ科学等の分野も含む）の授業の受講（聴講）が可。

◆Aコース（スペイン語上級者）

約1年間の研修期間の当初より、大学、研究機関等における専門科目の授業の受講（聴講）を中心とした研修を行う。

◆Bコース（スペイン語中級者）

約1年間の研修期間の前半（約6ヶ月間）は大学の外国人のためのスペイン語コースを受講し、後半（約6ヶ月間）は大学等における専門科目の授業の受講（聴講）を中心とした研修を行う。

◆Cコース（スペイン語初級者）

約1年間の研修期間を通じて、大学の外国人のためのスペイン語コースを受講し、スペイン語の習得を中心とした研修を行う。但し、研修期間後半（6ヶ月間）は、スペイン語コースの受講に加えて、大学等における専門科目の授業（1～2科目）の受講（聴講）を行う。

（*なお、Cコースについては、応募の時点では、スペイン語能力は問わないが、本交流計画の研修候補者に選出された場合は、渡航までの期間で出来る限り基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。）

●研究コース：スペイン語上級者（大学院レベル）：5名程度

◆ 修士課程コース（約2年間）：大学院、研究機関等で、専門科目の授業を履修すると共に、特定の教授の指導の下に研修を行う。修士課程修了時に修士論文（スペイン語）の提出が求められる。修士号の取得が可能。

◆ 研究論文準備コース（約6ヶ月～1年間）：我が国の大学院（修士・博士課程）に在籍する者が、自らの研究テーマを深めることを目的として、6ヶ月～1年間、メキシコの大学院、研究機関の指導教授について研究を行う。（当該研究論文準備コースについては、研修先の指導教授の同意が得られる場合に限り、論文指導を英語で受けることも可。
研修終了時には、受入機関である国家科学審議会（CONACYT）に対し、研修成果を纏めた報告書の提出が求められる。（なお、英語で指導を受けることが認められた者については、研修成果の報告書を英語で提出することも可。）

(* なお、上記いずれの研究コースについても、メキシコに渡航するまでの間に、自ら、研修希望先の大学院、研究機関等とコンタクトを取り、研究計画書を提出し、受入許可・受入同意を得ることが必要となる。)

2. 大学等における専攻・研究分野：文系、理系のあらゆる分野（科学技術、芸術、スポーツ科学等の分野も含む）

3. 受入機関 **メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）**

(* 研修生の受入大学等については同審議会が各研修生の希望分野や語学力を考慮して決定する。
第35回（2006年度）は、メキシコ国立自治大学、グアダハラハラ大学等が主な受入大学となった。また、これまで実績のある主な研修先リスト一覧は別添のとおり。)

4. 派遣・給付期間

◆専攻コース（A、B及びCコース）：約1年間（2009年7月末～2010年7月末）（予定）

◆研究コース

◇修士課程コース：約2年間（2009年7月末～2011年7月末（予定））

◇研究論文準備コース：6ヶ月～1年間（2009年7月末～2010年7月末までの期間（予定））

5. 待 遇 （第35回 2006年度の場合）

- (1) 滞在費：月額6,827ペソ（約630USドル）（*着後、滞在費1ヵ月相当額の手当を支給。）
 - (2) 医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
 - (3) 入学金・授業料：免除（但し年間の学費が14,000ペソを超える場合にはこの限りでない）
 - (4) 渡航費：東京-メキシコ・シティー間の往復航空券支給
 - (5) 住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。
- (* なお、メキシコ政府側よりの支給額他、待遇については毎年見直しの上改訂される。)

6. 応募資格（原則として、過去に本計画によって派遣された者は対象外）

- (1) 日本国籍を有する者
- (2) 健康な者
- (3) 4年制大学の学部又は大学院に在学中、又は、卒業した者。或いは、高校・短大卒で十分な職務経験を有する者。
- (4) 2009年8月1日現在で、22歳以上35歳未満の者。
- (5) メキシコに単身で渡航できる者

7. 応募方法

- (1) 出願書類：別記「出願書類一覧」参照
- (2) 願書提出先：独立行政法人日本学生支援機構 留学情報センター
受付時間：月～金曜日（祝日を除く）
〒135-8630 東京都江東区青海2-79（新交通ゆりかもめ「船の科学館」駅 東出口 徒歩5分）
TEL：03-5520-6111/6161
注：出願封筒の表に「第37回日墨交流計画出願書類在中」と朱書のうえ、簡易書留または宅配便で送付するか、持参すること。
- (3) 願書提出期限：2008年9月26日（金）15：00必着

8. 選 考

(1) 第一次選考

◆専攻コース（A、Bコース）及び 研究コース：筆記試験

(スペイン語能力判定試験：西文和訳、和文西訳等)

(*但し、研究コースの論文準備コースにおいて、英語での論文指導を希望する場合は、専攻コース・Cコースと同様に書類審査となる。)

日時：2008年10月17日(金) 10:00~12:00

場所：東京会場 (独)日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
(所在地、電話は上記留学情報センターと同じ)

京都会場 京都外国語大学国際交流会館

〒615-0058 京都府京都市右京区西院笠目町6 (阪急西院駅下車 徒歩15分)

TEL: 075-312-3388

*筆記試験は、出願者が願書に記載した希望受験地で行う。上記の日時の15分前までに各会場に集合すること。

◆専攻コース（Cコース）：書類審査

一次審査の結果は、11月中旬に外務省中米課より書面にて通知する。

(2) 第二次選考

全コース共通：面接試験 (専攻コース(A、Bコース)及び研究コースは、スペイン語の会話試験を含む)

日時：2008年12月1日(月)

場所：(独)日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室
(所在地、電話・FAXは上記留学情報センターと同じ)

※面接時間については一次選考結果通知の際に伝える。

※二次審査の結果は、12月中旬を目途に外務省中米課より本人宛に通知する。

(3) 最終決定 (全コース共通)

国内選考に合格した者は、正式な候補者としてメキシコ国家科学技術審議会(CONACYT)に推薦される。最終決定は同審議会が行い、その結果は2009年6月頃に書面にて通知する。

<2008年度日墨研修生・学生等交流計画選考日程表>

日程	専攻コース(A、Bコース) 研究コース	専攻コース(Cコース)
2008年9月26日(金)	願書提出締切	願書提出締切
10月17日(金)	一次選考(筆記試験)	
12月1日(月)	二次選考(面接試験)	二次選考(面接試験)

9. 渡航前説明会の開催

出発前に外務省において渡航前説明会が開催される。渡航及び研修にあたっての重要事項の説明があるので、研修生は原則として必ず参加することが求められる。

10. 留意事項

- (1) 上記1. に記載の専攻コース・Aコースと研究コース・修士課程コースの併願は可。それ以外のコースの併願は認められない。
- (2) 第37回(2008年度)研修の実施計画については、今後、メキシコ側と協議の予定である。本募集要項に記載されている諸要件(専攻分野、受入機関、派遣期間、待遇等)は前年度の例に基づく暫定的なものであり、今後変更もあり得る。
- (3) 研修期間中の帰国は、原則として認められない。
- (4) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、志望校を選定する際、また、奨学金研修生に選定され渡航する際には、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構留学情報センター」や海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全相談センター」の情報提供サービスを活用すること。
- (5) メキシコ国家科学審議会(CONACYT)のホームページ(下記のHPアドレス参照のこと)、(独)日本学生支援機構留学情報センターの情報などを参照の上、出願書には希望研修大学、又は、大学院(第1希望及び第2希望)を記入する。
- (6) 外務省にて開催される渡航前説明会及び渡航当日の空港までの交通費等は全て自己負担となる。
- (7) 研修生は、メキシコ到着後に受入機関であるCONACYTによるオリエンテーションを受けた後、受入大学、大学院等で研修を行う予定。
- (8) 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府受入機関CONACYTに対し定期的に研修活動報告書を提出することが求められる。また、メキシコ政府よりの奨学金を受けているとの意識のもと、真面目な態度で研修に取り組むこと、良好な成績を修めることが求められる。
- (9) 本計画に関する問い合わせのうち、提出書類や選考試験の場所・日程に関しては日本学生支援機構留学情報センターに、選考試験及び選考終了後の各種照会は外務省中米課(担当:メキシコ班・菅井 TEL:03-3580-3311 内線2494、e-mail:nichiboku@mofa.go.jp)に対して行うこと。

●独立行政法人 日本学生支援機構留学情報センター

TEL:03-5520-6111/6161 ホームページ:<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/>

●これまでに実績のある主な受入大学リスト一覧:別添

●外務省ホームページ:<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

●海外安全相談センター(外務省領事局海外邦人安全課)

TEL:03-3580-3311(代)(内線:2902、2903)

●海外安全ホームページ:<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●メキシコ国家科学審議会(CONACYT):<http://www.conacyt.mx>